

# URBAN-REPORT

<http://www.urbankk.co.jp>

発行人 ㈱アーバン企画開発 三戸部 啓之

## ハチの巣駆除について

例年刺傷事故が報道され、死亡者もでてきているハチの被害。ご契約者、家主様からも毎年春先から夏にかけてハチの巣の多数のご報告を頂きます。ご報告の多くはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチの3種類です。スズメバチだけでなく、アシナガバチやミツバチでも刺されるとアナフィラキシーショックを起こす事がありますので駆除作業には注意が必要になります。

### 【蜂の特徴・巣の特徴】

スズメバチとアシナガバチは大型のハチで凶暴で、毒も強く、集団で人を襲います。

- スズメバチの巣は、初期段階においてはフラスコを逆さまにしたような形をしており、徐々に丸くマーブル模様の大きな巣へと変わっていきます。最大で直径60~80cmになります。天井裏や軒下、建物の隙間、樹木の中の空洞部分や木の根元、土の中、庭の樹木、ダンボール箱、鳥の巣箱、廃材の下、木の枝、煙突の中、車体の隙間、エアコン室外機、自転車やバイクシート内、家の軒下、天井裏等少しの隙間に巣を作ってしまう。
- アシナガバチの巣は外部露出の巣でシャワーヘッドの様な形になります。巣の大きさは最大15cm程度までしか成長しませんが巣を撤去しても同じ場所に作る傾向があります。
- ミツバチは穏やかな性格ですが一度刺すと針がちぎれて死んでしまい、その際発散される興奮物質によって仲間が大量で攻撃してくることがあります。ミツバチの巣は屋根裏や軒下に作られ、板状の巣を作ります。最大で1m程に成長します。

ちなみにハチの針は産卵管なので、刺すのはメスだけです。しかし働き蜂のほとんどはメスですので注意が必要です。

### 【危険性】

アナフィラキシーショックとはアレルギー反応の一種であり、ハチに二度刺されたら危ないと言われていますが、初めて蜂に刺されただけで発症する事もあります。刺されてからの発症期間が10分~15分程度と非常に短く、発症すると嘔吐や呼吸困難、眩暈、顔面蒼白等の症状が出て、最悪の場合死亡します。

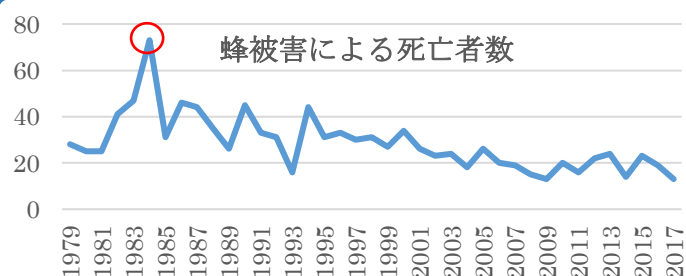
最近ハチによる死亡例が減少傾向にありますが、下記のグラフを見ると、年平均20人前後の方が命を落としています。 サメ被害が年平均0.1人、熊被害年平均2.2人(共に死亡者数)と比べると圧倒的にハチ被害によって命を落とされている方が多い事が分かります。被害数が多い1984年(表赤丸)は、農林水産省統計部資料によると4月から全国的な少雨傾向が続き、さらに猛暑の夏を迎え、干害が発生した事がわかりました。



スズメバチ  
マーブル模様

アシナガバチ  
シャワーヘッドの形

ミツバチ  
平らな板の形



厚生労働省 人口動態調査のデータより

まだ2018年分は発表されておませんが今年も早い梅雨明け、猛暑でしたのでおそらく被害件数も増えたかと思えます。

当社で受けたハチの巣が出来ているといったご連絡の件数は2017年40件、2018年現在51件と既に昨年の件数を越えています。今後地球温暖化が進むにつれ被害件数も右肩上がりになっていくでしょう。

## 【 駆除方法 】

巣の大きさが 10cm～15cmの小さいものであり、スズメバチ以外のものであれば、一般の人でも駆除できる場合がありますが、上記以外ですと危険が伴いますので専門業者を呼んで駆除します。専門業者に依頼した場合にかかる費用は、だいたい下記表のようになります。

蜂の種類	駆除費用額
スズメバチ	9,000～30,000 円
アシナガバチ	7,000～15,000 円
ミツバチ	10,000～50,000 円

( 専門業者発注時の相場価格 )

余談ですが、危険性の低いミツバチ駆除の相場が何故一番高いかというと、「ハチの数が多」、「ハチミツで巣が大変重い」、「駆除しにくい場所に巣がある」等の理由があるようです。駆除に時間も体力も奪われるので高額な設定になっています。

行政での対応は、横浜市・川崎市では共に防護服や駆除機材の貸出し、ハチの巣の駆除方法等の説明、駆除業者の案内はしてくれませんが巣の駆除自

体はやって頂けないようです。東京都武蔵野市にはスズメバチ駆除助成金制度というものがあり、自己負担 10,000 円程で済む地区もあるようですがまだまだ全国的に少ないです。

専門業者に頼むと一番安くても 7,000 円以上するハチの巣駆除作業ですが、小さい巣でスズメバチ以外のものであれば当社のCS (カスタマーサポート) 部署でも駆除対応しております。

殺虫剤はピレスロイド系のフタルスリンレスメトリンという即効性のある殺虫成分入りのハチ専用のものを使用し、噴射距離が 5m～10m程あるので離れた場所から吹き付けられます。ハチの巣から 1m程離れて、殺虫剤を 1 分程噴きつけます。駆除するには夜間か早朝が良いです。アシナガバチは日が暮れるとハチが全て巣に戻ってくる習性があり、ミツバチは夜から朝にかけて巣へと戻る習性があるので駆除作業中に他の場所から戻って来たハチに攻撃されにくく、全ての蜂を駆除出来るからです。

ハチは黒いものに対して攻撃する習性があり、匂い・音に敏感なので、大きい声を出したりせず匂いの強いものの着用を避け、出来れば白い長袖の服で駆除作業を行います。(ちなみに洗濯物を取り入れる際に蜂が紛れているのは柔軟剤の香りが原因と言われています。) 巣に駆除スプレーを噴射後ハチがボトボトと落ちてきます。攻撃してくるハチがいなくなった時点で巣を駆除しますが直接巣に触れてゴミ袋に入れるのではなく、長い棒等で巣を叩きゴミ袋内に落とし入れます。

アシナガバチの場合、巣を駆除してもまた同じ場所に巣を作りやすいので、新聞紙を丸めたダミーの巣を麻ひもなどでつるすと先に別のハチに巣を作られてしまったと思ひ込み効果的なようです。

ただし、スズメバチに関しては 1 軒のお宅から過去の巣も含めて 2～3 個まとめて見つかった、という例もありますの

### 新聞紙で作ったダミーの巣



で、確実に効果があるかは何とも言えません。再発の防止策として木酢液・ハッカ油も有効で、ミント系の植物も多少の効果が期待できます。ハチの巣を作らせないスプレーも販売されています。

温暖化が進む昨今、蜂は増える一方と思われます。ご入居者様の安全の為、当社ではできる限りの駆除を行っていきます、しかし一歩間違えたら命を失うハチ駆除作業です、今後も人命第一で、専門業者へ依頼する事も含めて、臨機応変に対処してまいります。

